

平成21年度国立大学法人等
職員採用（図書系）二次試験問題

注 意 事 項

1. 問題は18問（13ページ）で、解答時間は2時間です。
2. この問題は、後ほど回収します。切り取ったり、転記したり、持ち帰ったりしてはいけません。
3. 下欄に第一次試験受験番号、第一次合格通知書番号及び氏名を記入してください。

第一次試験受験番号	第一次合格通知書番号
氏名	

指示があるまで中を開いてはいけません

【No. 1】

次は、「著作権法」第三十一条である。(1)～(5)に該当する語句を下から選んで記号で答えなさい。

(図書館等における複製)

第三十一条 図書、記録その他の資料を公衆の利用に供することを目的とする図書館その他の施設で政令で定めるもの(以下この条において「図書館等」という。)においては、次に掲げる場合には、その営利を目的としない事業として、図書館等の図書、記録その他の資料(以下この条において「図書館資料」という。)を用いて著作物を複製することができる。

- 一 図書館等の(1)の求めに応じ、その(2)の用に供するために、公表された著作物の一部分(発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあっては、その全部)の複製物を一人につき一部提供する場合
- 二 図書館資料の(3)のため必要がある場合
- 三 (4)等の求めに応じ、(5)その他これに準ずる理由により一般に入手することが困難な図書館資料の複製物を提供する場合

- | | | | |
|-----------|------------|----------|---------|
| a. 海外の図書館 | b. 学会 | c. 管理者 | d. 教員 |
| e. 経営 | f. 国立国会図書館 | g. 出版 | h. 出版社 |
| i. 職員 | j. 絶版 | k. 他の図書館 | l. 調査研究 |
| m. 著者 | n. 展示 | o. 読者 | p. 読書 |
| q. 破損 | r. 紛失 | s. 保存 | t. 利用者 |

【解答欄】

(1) (2) (3) (4) (5)

【No. 2】

情報検索において、検索結果に対する精度と再現率は次の式で計算できる。

$$\text{精度} = b / (a+b)$$

$$\text{再現率} = b / (b+d) \quad a \sim d \text{ は該当する文献数を示す。}$$

以下の表の(1)～(4)に該当するものを下から選んで記号で答えなさい。

	(1)	(2)
(3)	a	b
(4)	c	d

ア. 検索された文献

イ. 検索されなかった文献

ウ. 適合文献

エ. 不適合文献

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

(4)

【No.3】

次は、図書館資料の収集・保存への取組みに関する記述である。(1)～(3)に該当する語句を答えなさい。

- 1) 米国において、大学図書館を中心に1948年から1972年の間 が実施された。これは参加館が分担して、学術的価値のある外国出版物を網羅的に収集・保存するというものであった。
- 2) は、シカゴ大学内に設置され、米国中西部の大学図書館が1949年に組織した中西部図書館相互協力センターを、全米規模の共同保存図書館として1965年に改組したものである。
- 3) 日本の国立大学図書館では、1980年から始めた 制度があり、これはそれまで国内で未購入だった外国雑誌を対象として、体系的・網羅的な収集・保存を行うもので、現在9つの拠点大学図書館が分担して行っている。

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

【No.4】

図書館の管理運営からみた「自動化書庫」の長所を2つ簡潔に答えなさい。

【解答欄】

(1)

(2)

【No.5】

『出版年鑑』の「書籍目録」と「日本書籍総目録」(現在はCD版)について、図書を探すための参考図書として大きく異なる点を簡潔に答えなさい。

【解答欄】

書籍目録 :

日本書籍総目録 :

【No.6】

次は、我が国の雑誌論文記事のデータベースサービスの概要を示したものである。該当するデータベース名（サービス名称）を答えなさい。

- (1) 国立情報学研究所が提供しているサービスで、わが国の学協会誌や大学研究紀要に掲載された学術論文情報が収録されている。抄録や引用関係からの検索や、本文の参照が可能なものもある。
- (2) わが国の医学論文情報の検索サービスで、約 630 万件の文献情報を収録している。文献のタイトル、著者名、掲載巻号頁などの基礎的な情報に加え、「医学用語シソーラス」に基づいて付与されたキーワードのほか、抄録、論文種別など多様な情報が収録されている。
- (3) 大衆向けの月刊誌や女性誌などの雑誌の記事が検索できるサービスで、約 500 万件の記事情報を収録している。Web 版のほか、CD-ROM 版も刊行されている。

【解答欄】

- (1)
- (2)
- (3)

【No.7】

「日本十進分類法新訂9版」における分類規程の「主題と主題との関連」では、1) 影響関係、2) 因果関係、3) 概念の上下関係、4) 比較対照のタイプなどを挙げている。この4つのタイプのいずれかである次の図書について、書架分類する場合の最も適切な主題を、書名中のことばで答えなさい。

- (1) 浮世絵と美人画
- (2) 浮世絵とフランス絵画
- (3) 大気の汚染と気候の変化

【解答欄】

- (1)
- (2)
- (3)

【No.8】

次は、各図書を「日本十進分類法新訂9版」に基づき、第3次区分表(3桁)で分類したものである。□に該当する数字(0～9)を答えなさい。

- | | |
|--------------|---|
| (1) 経済学入門 | 1 |
| (2) 源氏物語 | 9 |
| (3) 磁力と重力の発見 | 3 |
| (4) 西洋美術史 | 2 |

【解答欄】

- (1) (2) (3) (4)

【No.9】

次は、わが国の目録規則の変遷に関する記述である。(1)～(3)に該当する語句を答えなさい。

- 1) 1893年に、わが国最初の目録規則「和漢書目録編纂規則」が作成された。この規則では、を基本記入とした。
- 2) 1943年に、「日本目録規則」が刊行された。この規則では、基本記入方式の採用と、和漢書と洋書を統一的に取り扱うことを目指したところが特色である。
- 3) 1977年には、「日本目録規則 新版予備版」が発表された。この新版予備版では、記述をとは無関係に完結させ、指示に従ってを後から記入する記述ユニット・カード方式を提起した。

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

【No.10】

次は、NACSIS-CATについての記述である。(1)～(3)に該当する語句を答えなさい。

NACSIS-CATは、どのような学術文献(図書・雑誌)が我が国のどの大学図書館等に所蔵されているかが即座に分かるデータベースを構築するためのシステムである。

この目録システムでは、参加図書館によるオンライン入力により、従来のような図書館ごとに目録作成を行う重複を防ぎ、目録業務の負担を軽減している。また、データベースを効率的に形成するために、各種の標準的な目録データであるMARCを参照、利用することができる。

このデータベースは、図書館間で文献複写や図書貸出の依頼・受付を行うのほか、Webcat Plusでも活用され、研究者への学術文献の提供に大きな役割を果たしている。

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

【No.11】

以下の図書について、「日本目録規則1987年版改訂3版」に基づき、NACSIS-CATにおける書誌のタイトルと責任表示(読みは除く)を区切り記号法で答えなさい。

(1)

ザ・サーチ グーグルが世界を変えた [The Search] ジョン・バツテル 中谷和夫 訳
--

(2)

KENKYUSHA'S NEW COLLEGIATE ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY 新英和中辞典 第5版 編者 小稲義男 山川喜久男 竹林滋 吉川道夫

(3)

<i>The Feynman</i> LECTURES ON P H Y S I C S <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> FEYNMAN • LEIGHTON • SANDS
--

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

【No.12】

次は、A から E の各図書館の年間統計である。これらの図書館の中で、蔵書回転率が「最も高い図書館」と「最も低い図書館」の図書館名とそれぞれの蔵書回転率を小数点以下2桁（3桁目を四捨五入）で答えなさい。

図書館名	教員数 (人)	学生数 (人)	蔵書数 (千冊)	受入数 (冊)	貸出数 (冊)	複写依頼件数 (件)
A	1,500	10,000	290	57,000	50,000	1,500
B	750	8,500	100	14,000	42,000	3,300
C	550	6,000	55	9,800	39,000	2,300
D	400	4,500	40	7,800	30,000	2,400
E	150	2,500	30	7,500	20,000	1,000

【解答欄】

蔵書回転率が最も高い図書館： 図書館名 () 蔵書回転率 ()

蔵書回転率が最も低い図書館： 図書館名 () 蔵書回転率 ()

【No.13】

データベース管理システムにおけるデータモデルのひとつである階層モデル（木構造モデル）について、データの具体例を挙げて、階層関係がわかるように図示しなさい。

【解答欄】

【No.15】

次は、図書館史上で顕著な功績を挙げた人物に関する記述である。該当する人物名を答えなさい。

- (1) Although most famous for his Decimal Classification, he, more than any other individual, was responsible for the development of modern library science. The Decimal Classification was published in 1876. In the same remarkable year, the American Library Association was founded, as was the *Library Journal*, under his own editorship. His contribution was recognized by the Presidency of ALA (1890, 1892-3).
- (2) Librarian of the British Museum who, if anyone does, probably deserves to be referred to as a great librarian. The concept of what a national library could and should be was enormously advanced by his example at the British Museum. Legal deposit was vigorously enforced to provide for current British literature. A new cataloguing code, the famous 91 Rules, and alphabetical name catalogue in manuscript form were developed under his direction.
- (3) Librarian, creator of the Colon Classification and of the Five Laws of Library Science. Born in Madras State, India. The Colon Classification, although not much used outside India, has had a very wide influence on the development of other classification and indexing system. His Five Laws still provide a good basis for discussion of the principles behind the management and organization of libraries.

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

【No.16】

次の(1)～(3)に該当する用語を日本語あるいは英語で答えなさい。

- (1) The set of symbols identifying a particular item in a library collection and indicating location.
- (2) A page at the beginning of a bibliographic item bearing the title proper, statement or responsibility and publishing information. The chief source of information used by librarians in cataloging a book.
- (3) The title proper in another language and/or script recorded in the title and statement or responsibility area.

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

【No.17】

次は、国際的な目録原則に関する記述である。以下の問いに答えなさい。

STATEMENT OF INTERNATIONAL CATALOGUING PRINCIPLES

(April 10, 2008 version)

Introduction

The Statement of Principles – commonly known as the “ Principles” – was approved by
(ア)

the International Conference on Cataloguing Principles in 1961. Its goal of serving as a basis for international standardization in cataloguing has certainly been achieved: most of the cataloguing codes that were developed worldwide since that time followed the Principles strictly, or at least to a high degree.

Over forty years later, having a common set of international cataloguing principles has become even more desirable as cataloguers and their clients use OPACs (Online Public Access Catalogues) around the world. Now, at the beginning of the 21st century,
an effort has been made by IFLA to adapt the Principles to objectives that are applicable
(イ)

to online library catalogues and beyond. The first of these objectives is to serve the convenience of the users of the catalogue.

These new principles replace and broaden the Principles from just textual works to all types of materials and from just the choice and form of entry to all aspects of bibliographic and authority data used in library catalogues.

- (1) 文中の a. に該当する語句を答えなさい。
 (2) 下線部 (ア) の原則が最初に適用された「日本目録規則」の版を答えなさい。
 (3) 下線部 (イ) の箇所以示された努力の「目標の第一」は何か日本語で簡潔に答えなさい。

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

【No.18】

次は、ハーバード大学での研究成果をオープン・アクセスとするための取組みを紹介したものである。以下の問いに答えなさい。

The Internet has brought unparalleled opportunities for expanding availability of research by bringing down economic and physical barriers to sharing. The digitally networked environment promises to democratize access, carry knowledge beyond traditional research niches, accelerate discovery, encourage new and interdisciplinary approaches to ever more complex research challenges, and enable new computational research strategies. However, despite these opportunities for increasing access to knowledge, the prices of scholarly journals have risen sharply over the past two decades, often forcing libraries to cancel subscriptions. Today even the wealthiest institutions cannot afford to sustain all of the journals needed by their faculties and students.

To take advantage of the opportunities created by the Internet and to further their mission of creating, preserving, and disseminating knowledge, many academic institutions are taking steps to capture the benefits of more open research sharing. Colleges and universities have built digital repositories to preserve and distribute faculty scholarly articles and other research outputs. Many individual authors have taken steps to retain the rights they need, under copyright law, to allow their work to be made freely available on the Internet and in their institution's repository.

- (1) 下線部の事柄を一般的に何と呼んでいるか答えなさい。
(2) 大学と個々の著者の取組みを日本語で簡潔に答えなさい。

【解答欄】

(1)

(2) 大学 :

個々の著者 :